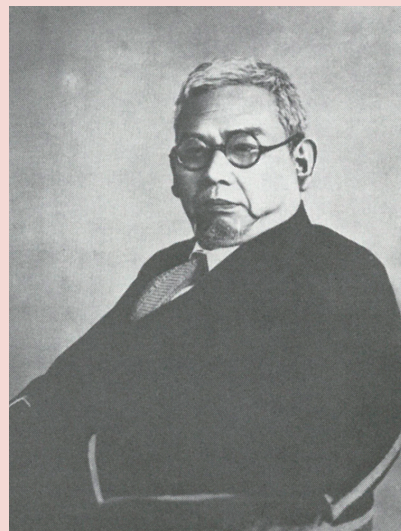


立教大学日本学研究所主催  
公開シンポジウム

# 史学史上の 黒板勝美

## 日米における新たな研究動向



黒板勝美（1874 - 1946）は、日本古文学書の確立者として知られ、近代日本のアカデミズム歴史学を代表する歴史家である。朝鮮の文化財保存に関与するなど文化財行政において活躍するとともに、エスペラントの普及運動を担うなど、国際的視野をもつ知識人という一面を有する。史学史上の黒板の位置づけは、国内外の文脈において日本の近代歴史学の位相を考える上で重要であるが、その全体像は従来十分に研究されているとはいえない。今回は、日米双方において高まりつつある黒板をめぐる史学史の新たな研究動向を踏まえ、今後のグローバルな史学史研究の可能性について議論することにした。

### 演題・講師

#### 「趣旨説明 黒板勝美研究の可能性」

……立教大学文学部准教授・日本学研究所所員 **佐藤雄基**

#### 「日本近代史学史研究の現状と黒板勝美の位置」

……早稲田大学大学史資料センター助手 **廣木 尚**

#### 「近代日本の国家形成と歴史学：黒板勝美を通じて」

……ホバート・アンド・ウィリアム・スミス・カレッジ准教授 **Lisa Yoshikawa**

#### コメント

……慶應義塾大学経済学部准教授 **松沢裕作**

#### 司会・コーディネーター

……**佐藤雄基**

### 日 時

2015年12月19日（土）14:00～18:00

### 会 場

立教大学池袋キャンパス 12号館地下 第3、第4会議室

【対 象】学生、大学院生、教職員、一般

【主 催】立教大学日本学研究所 【共 催】立教 SFR「グローバルヒストリーのなかの近代歴史学」

【問合せ】立教大学日本学研究所（nihongaku@rikkyo.ac.jp）

予約不要  
参加費無料